

## 20世紀前半の鬱陵島各種統計（第1版）

福原裕二

以下に掲げる20世紀前半を中心とする、鬱陵島の各種統計は、『通商彙纂』（外務省通商局）掲載の鬱陵島関係記事、鬱陵島郵便所『明治三十七年起沿革簿』（韓国国史編纂委員会所蔵）、朝鮮総督府『昭和5年朝鮮国勢調査報告』及び朝鮮総督府『昭和10年朝鮮国勢調査報告』を主要資料とし、筆者が一部作成して、整理を施したものである。

この時期の鬱陵島の各種統計は、この他に朝鮮総督府『朝鮮総督府統計年報』や鬱陵郡庁『鬱陵郡誌』（1989年発行及び2007年発行）などに掲載されたものなど、いくつかの利用可能であるが、出典が不明確であったり、明らかな誤記が認められたり、一々必要な統計を拾い出さなければならなかったりと、資料として用いるには不正確・煩雑であった。もっとも、ここで挙げられている統計数字も完全に正確なものと言い難い。なぜなら、表を作成するにあたっては、なるべく一貫した出典を用いるように努めたが、そのため別の資料の統計数字と相違している場合が見られるからである。より正確さを期するためには、今後さらに資料収集に努め、一々資料批判を行いつつ、相互の数字を付き合わせていく作業が必要であろう。しかし、この種の系統的な統計がこれまでまとまって明らかにされたことがないことに鑑み、未だ不完全であることを承知しつつ、資料として提供することにした。従って、この統計は第1版としている。忌憚のないご批判とより正確さを期すための情報提供を仰ぐことができれば幸いである。

また、本資料は、それぞれの統計に一々分析や解説を施していない。その意味で統計の羅列である。これら統計が近代鬱陵島社会の史的展開においてどのような意味を持つのかについては今後の研究課題としたい。なお、今号に掲載されている拙稿（「20世紀初頭の鬱陵島社会」）と併せて活用していただけると、一部統計の位置づけが明らかとなろう。

[表1] 鬱陵島の朝鮮人・日本人戸口の変化（1901-1955）

調査年月日	戸数		人口	
	朝鮮人戸数	日本人戸数	朝鮮人人口	日本人人口
1901 頃 *1	447	n.a.	n.a.	n.a.
1902 頃 *2	556	79	3,340	548*14
1904.12 末 *3	n.a.	85	n.a.	260
1905.4*4	n.a.	89	n.a.	251
1905.5*5	n.a.	98	n.a.	341
1905.6 末 *6	n.a.	110	n.a.	336

1905 末頃 *7	564	95	3,300 余	302
1906.6.30	737	118	5,849	493
1906.12.31	741	153	5,923	541
1907.6.30	747	168	6,116	584
1907.12.31	791	176	6,228	616
1908.6.30	781	186	6,229	665
1908.12.31	751	200	6,108	715
1909.6.30	798	219	5,904	762
1909.12.31	907	223	5,162	736
1909 末 *8	902	224	4,995	768
1910.6.30	n.a.	260	n.a.	864
1910.12.31	n.a.	270	n.a.	931
1911.6.30	n.a.	343	n.a.	1,197
1911.12.31	n.a.	342	n.a.	1,239
1912.6.30	n.a.	586	n.a.	1,776
1913.9.30	n.a.	430	n.a.	1,490
1914.9.30	n.a.	607	n.a.	2,094
1915.9.30	n.a.	513	n.a.	1,546
1916.9.30	n.a.	527	n.a.	1,596
1917.9.30	n.a.	540	n.a.	1,670
1918.9.30	1,445	430	8,513	1,503
1919.9.30	1,438	349	8,381	1,247
1920.9.30	1,422	227	8,141	800
1920.10.1*9	1,439	248	8,210	856
1920.12 末 *10	1,422	208	8,141	743
1921.9.30	1,429	206	8,376	660
1922.9.30	1,870	180	7,510	588
1923.9.30	1,384	171	7,920	600
1924.9.30	1,417	149	8,502	559
1925.9.30	1,485	162	7,040	560
1925.10.1*11	n.a.	n.a.	9,424	559
1926.9.30	1,479	156	6,461	495
1927.9.30	1,530	159	6,794	533
1928.9.30	1,334	145	9,053	519
1929.9.30	1,955	137	9,236	476
1930.9.30	1,359	135	7,528	474
1930.10.1*12	n.a.	n.a.	10,734	489
1931.9.30	1,359	139	7,572	496
1932.9.30	1,494	135	10,514	459
1933.9.30	1,535	118	10,017	409
1934.9.30	1,801	153	11,163	539
1935.9.30	1,841	122	11,222	442
1935.10.1*13	n.a.	n.a.	11,317	443
1936.9.30	1,900	119	11,400	×
1937.9.30	1,617	111	11,500	435
1938.9.30	×	115	×	×
1939.9.30	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
1940.9.30	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
1941.9.30	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
1942.9.30	×	101	×	396
1943.9.30	2,448	107	×	461
1944.9.30	×	109	×	479

1945.9.30	2,276	n.a.	13,944	n.a.
1946.9.30	2,250	n.a.	14,220	n.a.
1947.9.30	2,262	n.a.	13,270	n.a.
1948.9.30	2,310	n.a.	14,262	n.a.
1949.9.30	2,514	n.a.	14,715	n.a.
1950.9.30	2,650	n.a.	×	n.a.
1951.9.30	2,587	n.a.	14,869	n.a.
1952.9.30	2,699	n.a.	15,799	n.a.
1953.9.30	×	n.a.	×	n.a.
1954.9.30	×	n.a.	×	n.a.
1955.9.30	×	n.a.	×	n.a.

出所：鬱陵島郵便所『明治三十七年起 沿革簿』（1956.7 現在）。なお、この資料の特性上、戸数人口を普通区と特別区に分記しているが、本表ではそれを合算して戸数人口を把握している（普通区とは鬱陵島一円の郵便集配区のうち、南面道洞区域を指す。特別区とはそれ以外の区域を指す）。

注：n.a. は、「記録なし」を意味する。また、×は、資料の記述不鮮明による「不明」を意味する。

- \* 1 外務省通商局『通商彙纂』第234号、元眞社、明治35年10月16日、44頁。
- \* 2 同上。
- \* 3 外務省通商局『通商彙纂』明治38年第50号、博文館、明治38年9月3日、49頁。
- \* 4 同上。
- \* 5 同上。
- \* 6 同上。
- \* 7 外務省通商局『通商彙纂』明治39年第2号、博文館、明治39年1月13日、34頁。
- \* 8 農商工部水産局編纂『韓国水産誌 第2輯』龍山印刷局、1910年、710-711頁。なお、同資料の710頁には、「今数年前の調査を見るに去光武八年（明治三十七年）末現在八十五戸、二百六十人、同九年（明治三十八年）末一百十戸、三百六十六人とあり、現在戸口を之れに較ぶれば七百九十二戸、四千六百二十九人の激増なり、此の如きは元と従来の統計不備なりしに因るもの多しと雖も而も亦移住者に依りて増加を見るに至りしは事実なり、蓋し這般の現象たる本島物産に富めるを證して餘れり」との記述があるが、これは1909年末現在の朝鮮人戸口と、1904年、1905年末現在の日本人戸口とを混同した記述内容であると考えられる。注意を要すべきであろう。
- \* 9 『大正9年 朝鮮総督府統計年報 第1編 土地、気象、戸口』朝鮮総督府、1921年、52-53頁。
- \* 10 同上、付録8-9頁。
- \* 11 『大正14年10月1日現在 簡易国勢調査結果表』朝鮮総督府、1926年（1927年再版）、530-531頁。なお、同資料の25頁に依れば、総世帯数は、1,770である。
- \* 12 『昭和5年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1933年、62頁。なお、

同資料の253頁に依れば、総世帯数は、1,908である。

\*13 『昭和10年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1937年、72頁。なお、同資料の90頁に依れば、総世帯数は、1,936である。

\*14 但し、1900年の日本人越年者は99名、1901年の越年者は350名であり、1900年代初め頃の日本人人口は、3月から9、10月頃までの一時滞留者を含む総計と推定される。前掲、『通商彙纂』第234号、46頁。

[表2] 蔚陵島人口の推移と増減（1925年～1935年）

府面*	1925年	1930年	1935年	1925→1930		1930→1935	
				人口	割合	人口	割合
南面	3,723	4,524	4,831	801	215%	307	68%
西面	3,184	3,478	3,697	294	92%	219	63%
北面	3,085	3,229	3,232	144	47%	3	1%
総数	9,992	11,231	11,760	1,239	124%	529	47%

出所：『昭和10年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1937年、7頁。

\*蔚陵島における面洞（面数3、洞数9）名称は、以下の通り。南面：苧洞（新興洞、苧洞一部）、道洞（道洞、苧洞・沙洞各一部）、沙洞（玉泉洞、沙洞・長興洞各一部）、西面：南陽洞（通九味洞、石門洞、南陽洞、南面長興洞一部）、南西洞（南西洞、龜岩洞）、台霞洞（鶴圃洞、台霞洞）、北面：玄圃洞（玄圃洞、平里洞）、羅重洞（羅重洞一部）、天府洞（天府洞、石浦洞、羅重洞一部）。越智唯七『新旧対照朝鮮全道府郡面里洞名称一覽』中央市場、1917年、574-575頁。

[表3] 蔚陵島の年齢別人口（1930・1935年）

府面	1930年			1935年		
	0-14歳	15-59歳	60歳以上	0-14歳	15-59歳	60歳以上
南面	2,010	2,287	227	2,186	2,424	221
西面	1,612	1,684	182	1,737	1,802	158
北面	1,486	1,566	177	1,518	1,555	159
総数	5,108	5,537	586	5,441	5,781	538

出所：『昭和5年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1933年、20-21頁および『昭和10年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1937年、18-19頁。

[表4-1] 蔚陵島の配偶関係別人口（1930年）

府面	未婚			有配偶			死別			離別		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
南面	2,407	1,380	1,027	1,823	924	899	262	99	163	32	25	7
西面	1,863	1,026	837	1,409	700	709	192	74	118	14	10	4
北面	1,738	969	769	1,283	639	644	198	49	149	10	6	4
総数	6,008	3,375	2,633	4,515	2,263	2,252	652	222	430	56	41	15

出所：『昭和5年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1933年、27頁。

[表 4-2] 蔚陵島の配偶関係別人口（1935年）

府面	未婚			有配偶			死別			離別		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
南面	2,642	1,510	1,132	1,937	975	962	235	85	150	17	11	6
西面	2,033	1,087	946	1,469	714	755	190	66	124	5	2	3
北面	1,767	947	820	1,285	631	654	172	43	129	8	4	4
総数	6,442	3,544	2,898	4,691	2,320	2,371	597	194	403	30	17	13

出所：『昭和10年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1937年、24頁。

[表 5] 蔚陵島の年齢（17区分）および配偶関係別人口（1935年）

年齢	未婚			有配偶			死別			離別		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0-4	2,157	1,096	1,061									
5-9	1,811	936	875									
10-14	1,469	775	694	4		4						
15-19	784	529	255	406	100	306				3	1	2
20-24	174	166	8	780	326	454	5	1	4	7	4	3
25-29	28	25	3	804	395	409	14	6	8	4	1	3
30-34	7	6	1	571	276	295	33	8	25	5	3	2
35-39	7	7		621	338	283	45	16	29	4	3	1
40-44	3	2	1	393	214	179	46	12	34	1	1	
45-49	1	1		362	191	171	73	25	48	3	3	
50-54				244	141	103	48	12	36	1	1	
55-59	1	1		243	151	92	58	15	43	2		2
60-64				116	79	37	69	24	45			
65-69				73	51	22	81	29	52			
70-74				54	41	13	61	24	37			
75-79				13	10	3	38	11	27			
80以上				7	7		26	11	15			
総数	6,442	3,544	2,898	4,691	2,320	2,371	597	194	403	30	17	13

出所：『昭和10年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1937年、33頁。

[表 6-1] 蔚陵島の現在人口、一時現在者、一時不在者および常住人口（1935年）

府面	現在人口			一時現在者		
	総数	男	女	総数	男	女
南面	4,831	2,581	2,250	88	74	14
西面	3,697	1,869	1,828	58	28	30
北面	3,232	1,625	1,607	53	39	14
総数	11,760	6,075	5,685	199	141	58
府面	一時不在者			常住人口		
	総数	男	女	総数	男	女
南面	62	39	23	4,085	2,546	2,259
西面	50	33	17	3,689	1,874	1,815
北面	41	23	18	3,220	1,609	1,611
総数	153	95	58	11,714	6,029	5,685

出所：『昭和10年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1937年、46頁。

[表6-2] 一時現在者中朝鮮外に常住地ある者の地域別人員（1935年）

府面	総数			内地	
	総数	男	女	男	女
南面	3	3		3	

出所：『昭和10年朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1937年、49頁。

[表7-1] 蔚陵島の出生地別人口：府・面・道（1930年）

府面	道内生						他道生			朝鮮外生		
	自府面生			他府面生			総数	男	女	総数	男	女
	総数	男	女	総数	男	女						
南面	2,224	1,185	1,039	1,504	815	689	497	276	221	299	152	147
西面	1,879	968	911	1,187	601	586	376	226	150	36	15	21
北面	1,924	977	947	979	522	457	316	156	160	10	8	2
総数	6,027	3,130	2,897	3,670	1,938	1,732	1,189	658	531	345	175	170

『昭和5年朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1933年、41頁。

[表7-2] 蔚陵島の出生地別人口：道・内地・外国（1930年）

出生地	蔚陵島		
	総数	男	女
総数	11,231	5,901	5,330
道内	9,697	5,068	4,629
自府面	6,027	3,130	2,897
他府面	3,670	1,938	1,732
他道	1,189	658	531
京畿道	26	7	19
忠清北道	31	20	11
忠清南道	9	6	3
全羅北道	10	5	5
全羅南道	100	59	41
慶尚南道	588	311	277
黄海道	7	5	2
平安南道	15	10	5
平安北道	8	5	3
江原道	378	220	158
咸鏡南道	13	7	6
咸鏡北道	4	3	1
内地	326	162	164
外国	17	11	6
中華民国	17	11	6
水上	2	2	

出所：『昭和5年朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1933年、48-49頁。

[表 8-1] 鬱陵島の民籍国籍別人口（1930年）

府面	総数			内地人			朝鮮人			中華民国人		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
南面	4,524	2,428	2,096	435	227	208	4,081	2,193	1,888	8	8	
西面	3,478	1,810	1,668	45	21	24	3,433	1,789	1,644			
北面	3,229	1,663	1,566	9	7	2	3,220	1,656	1,564			
総数	11,231	5,901	5,330	489	255	234	10,734	5,638	5,096	8	8	

出所：『昭和5年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1933年、62-63頁。

[表 8-2] 鬱陵島の民籍国籍別人口（1935年）

府面	総数			内地人			朝鮮人			中華民国人		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
南面	4,831	2,581	2,250	400	204	196	4,431	2,377	2,054			
西面	3,697	1,869	1,828	40	19	21	3,657	1,850	1,807			
北面	3,232	1,625	1,607	3	2	1	3,229	1,623	1,606			
総数	11,760	6,075	5,685	443	225	218	11,317	5,850	5,467			

出所：『昭和10年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1937年、72-73頁。

[表 9] 鬱陵島の読み書きの程度別人口（1930年）

府面	仮名及諺文を読み且書き得る者			仮名のみを読み且書き得る者			諺文のみを読み且書き得る者			仮名及諺文とも読み且書き得ざる者		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
南面	469	419	50	302	174	128	717	586	131	3,036	1,249	1,787
西面	221	216	5	60	47	13	443	407	36	2,754	1,140	1,614
北面	296	273	23	14	11	3	477	408	69	2,442	971	1,471
総数	986	908	78	376	232	144	1,637	1,401	236	8,232	3,360	4,872
割合	8.8	8.1	0.7	3.3	2.1	1.3	14.6	12.5	2.1	73.3	29.9	43.4

出所：『昭和5年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1933年、80-81頁。

[表 10] 職業別本業人口（1930年）

職業／性別		総数	南面	西面	北面
1-9	男	3,444	1,427	1,063	954
	女	2,911	1,116	917	878
1 農業	男	2,464	854	815	795
	女	2,313	753	742	818
2 水産業	男	448	245	143	60
	女	203	138	49	16
3 鉱業	男	1		1	
	女				
4 工業	男	133	87	26	20
	女	150	88	60	2
5 商業	男	158	112	26	20
	女	116	83	18	15
6 交通業	男	8	8		
	女	3	3		
7 公務自由業	男	74	43	18	13
	女	4	4		

8 家事使用人	男	17	3	4	10
	女	24	11	5	8
9 その他の有業者	男	141	75	30	36
	女	98	36	43	19
10 無業	男	2,457	1,001	747	709
	女	2,419	980	751	688

出所：『昭和5年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1933年、96-97頁。

[表 11-1] 世帯および人口（1930年）

世帯／人口		総数	南面	西面	北面	
世帯	総数	1,908	816	574	518	
	普通世帯	1,897	811	570	516	
	準世帯	11	5	4	2	
人口	総数	11,231	4,524	3,478	3,229	
	普通世帯	総数	11,185	4,510	3,467	3,208
		男	5,857	2,416	1,799	1,642
		女	5,328	2,094	1,668	1,566
	1世帯平均人員	5.90	5.56	6.08	6.22	
	準世帯	総数	46	14	11	21
		男	44	12	11	21
		女	2	2		

出所：『昭和5年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1933年、253頁。

[表 11-2] 世帯および人口（1935年）

世帯／人口		総数	南面	西面	北面	
世帯	総数	1,936	854	553	529	
	普通世帯	1,924	845	551	528	
	準世帯	12	9	2	1	
人口	総数	11,760	4,831	3,697	3,232	
	普通世帯	総数	11,707	4,786	3,693	3,228
		男	6,025	2,539	1,865	1,621
		女	5,682	2,247	1,828	1,607
	1世帯平均人員	6.08	5.66	6.70	6.11	
	準世帯	総数	53	45	4	4
		男	50	42	4	4
		女	3	3		

出所：『昭和10年 朝鮮国勢調査報告 道編 第6巻 慶尚北道』朝鮮総督府、1937年、90頁。

〔表 12〕 麩陵島の村名戸数人口（1902年）

村名	朝鮮人戸数	日本人戸数	日本人人口
道洞	27	36	386（男307、女79）
沙洞	40	2	12（男9、女3）
遇伏洞	10	2	8（男6、女2）
新里	7		
中嶺	30	2	6（男4、女2）
間嶺	10		
通龜尾	20	5	30（男23、女7）
南陽洞	57	9	38（男26、女12）
窟巖	9		
水層々	1	1	2（男2）
山幕谷	26		
臺霞洞	34	6	19（男15、女4）
香木洞	17		
玄浦	50		
新村	35	1	1（男1）
光岩	10		
錐山	7	1	1（男1）
羅里洞	30		
千年浦	6		
昌洞	6	2	4（男2、女2）
天府洞	16		
竹岩	11	5	20（男14、女6）
亭石浦	20		
臥達里	2		
乃守田	11	2	9（男5、女4）
苧洞	62	5	12（男7、女5）
砂工南	2		
総数	556	79	548（男422、女126）

出所：外務省通商局『通商彙纂』第234号、元眞社、明治35年10月16日、44頁。

〔表 13〕 麩陵島在留邦人出身県別表（1902年）

出身県	士族		平民		合計	
	男	女	男	女	男	女
北海道			1		1	
奈良県			1		1	
東京府				1		1
京都府						
大阪市			5	2	5	2
神奈川県						
兵庫県			4	1	4	1
長崎県			2	1	2	1
新潟県			1		1	
福井県			2	1	2	1
三重県			11	28	11	28
愛知県						
静岡県			1		1	
山梨県						
滋賀県	1				1	

岐阜県			2		2	
石川県			1		1	
島根県	1		232	75	233	75
鳥取県			53	7	53	7
岡山県			6	3	6	3
広島県			12	1	12	1
山口県			7	3	7	3
徳島県			1		1	
高知県			1		1	
愛媛県			3		3	
福岡県			4		4	
佐賀県			2		2	
大分県			22	3	22	3
熊本県			43		43	
鹿児島県	2				2	
宮崎県			1		1	
沖縄県						
小計	4		416	126	422	126
合計		4		544		548

出所：外務省通商局『通商彙纂』第234号、元真社、明治35年10月16日、50-51頁。

[表14] 麴陵島の在留邦人職業別表（1902年5月末～1905年末）

職業名	1902.5 末	1905.4	1905.5	1905.6	1905 末
貿易	24	13	13	15	23
仲買	3	21	21	21	19
雑貨	5				2
酒小売	3				
菓子	2				2
魚	1				
日雇	33	2	2	2	3
大工	4	7	12	15	10
木挽	95	43	50	52	41
鍛冶	7	5	5	5	5
斬髪	2				1
農業	1	2	3	3	3
材木	5	2	2	2	
潜水器	8	0	0	2	
船乗	60	0	31	31	24
雑業	16				
蟹	66				
藕製造	3				
下駄	1				
蟹船	3				
官吏		3	3	3	3
醫師		1	2	2	1
陶器商		2	2	2	3
荒物商		0	1	1	2
石油商		1	1	1	2
指物		3	3	3	
桶屋		0	0	1	1

飲食店		1	1	1	1
豆腐屋		2	2	2	1
漁夫		15	27	31	35
海士		0	32	32	
雇人		2	2	2	1
奴婢		2	1	1	2
和洋裁縫		2	2	2	2
洗濯		1	1	1	
細工匠		1	1	1	1
炭焼		1	1	1	1
郵便受取所		1	1	1	1
薬種					1
漁具					1
総数	342	133	222	236	192

出所：外務省通商局『通商彙纂』第234号、元眞社、明治35年10月16日、51頁および外務省通商局『通商彙纂』明治38年第50号、博文館、明治38年9月3日、49-50頁および外務省通商局『通商彙纂』明治38年第2号、博文館、明治39年1月13日、34-35頁。

[表 15] 麴陵島の漁業者戸口と船数（1909年末）

総戸口		漁業者戸口		
戸数	人口	戸数	人口	船数
902	4,995	480	2,095	230

出所：農商工部水産局編纂『韓国水産誌 第2輯』龍山印刷局、1910年、付録63-64頁。

[表 16-1] 麴陵島の輸出入品（1904.4-6、1905.4-6）

## 1904.4-6、1905.4-6の輸出

品名	単位	1905.4-6	1905.4-6	1904.4-6	増減
		数量	価格	数量	
大豆	石	214	1,605	470	-256
槻材	才	62,118	3,727	38,382	23,736
乾鮑	斤	4,770	4,770		4,770
海獣（トド）皮	貫	1,275	1,275	800	475
同上油	斗	414	538	20	394
同上ノ糟	斗	800	160		800
合計			12,075		

## 1904.4-6、1905.4-6の輸入

品名	単位	1905.4-6	1905.4-6	1904.4-6	増減
		数量	価格	数量	
精米		122	1,652	115.9	-6.1
糯米	石	1.7	25	0.8	0.9
酒	石	17.4	52	10.2	7.2
焼酎	石	20.8	83	0.4	20.4
石油	箱	18	63	20	-2
砂糖	斤	220	25	140	80
白木綿	疋	575	805	120	455

白綾木綿	疋	42	252	36	6
綿糸	丸	5	12		5
綿	貫	6	12		6
織物	反	15	30		15
鉄	貫	58	19	225	-169
蓆仄	枚	280	21	1,010	-780
燐寸	箱	1	6	1	0
陶器	個	不詳	10	500	不詳
食塩	俵	70	15	450	-380
醤油	石	6	9	9.3	-3.3
素麵	箱	10	25		10
合計			3,116		

出所：外務省通商局『通商彙纂』明治38年第50号、博文館、明治38年9月3日、50-51頁。

注：同資料に依れば、上表以外に、1904年4月から6月までの期間の輸出では、薪1,500貫、茸26貫800目、海苔52貫、麴1樽、食塩347俵、樺材16,387才、韓錢200貫文、黄柏皮800貫、鯧850貫、海獣肉800貫、1904年6月から12月までの期間の輸入では、空瓶750本、巻煙草150本、縄100束、刻煙草3貫目、杉皮5石6斗、酒粕13石2斗、酢酸4升があったという。

〔表 16-2〕 麯陵島の輸出入品（1904、1905.1-10）

1904、1905.1-10の輸出

品名	単位	1904		1905.1-10		増減	
		数量	価格	数量	価格	数量	価格
大豆	石	3,079	21,553	1,497	11,424	-1,582	-10,129
大麦	同	480	2,160	325	1,462	-155	-698
小麦	同	131	917	87	612	-44	-305
樺材	才	94,222	3,297	151,035	10,357	56,813	7,060
樺材	同	70,151	2,104	10,140	661	70,011	1,443
五葉松	同	1,600	400			-1,600	-400
檜梨	貫	60	250			-60	-250
木茸	同	60	96	207	326	147	230
鳥麴	同	150	112			-150	-112
乾鮑	同	50	187	9,100	8,050	9,050	7,863
鯧	同	1,707	1,707	1,479	1,529	-228	-178
海苔	同	138	414	174	524	36	110
若布	把	110,570	1,383	53	74	-110,004	-1,309
黄柏皮	貫	930	139			-930	-139
馬鈴薯	同	1,225	122			-1,225	-122
「ト」皮	同	800	600	1,275	1,275	475	675
同油	石	2	26	49	730	47	704
鮑缶詰	箱			35	343	35	343
白檀	斤			63,000	1,260	63,000	1,260
樺板	間			40	40	40	40
「ト」ノ粕	貫			950	190	950	190
合計			35,467		38,857		3,390

## 1904、1905.1-10の輸入

品名	単位	1904		1905.1-10		増減	
		数量	価格	数量	価格	数量	価格
白米	石	520	7,021	438	5,536	-82	-1,485
支那米	同	3	58			-3	-58
糯	同	4	46	3	51	-1	5
清酒	同	43	1,293	33	574	-10	-719
焼酎	同	1	72	21	128	20	56
食塩	同	114	195	45,400	834	45,286	639
醤油	同	32	80	18	175	-14	95
素麺	貫	215	113	135	97	-80	-16
砂糖	斤	590	82	220	25	-370	-57
菓子	同	110	2			-110	-2
酒粕	石	13	45			-13	-45
甘薯	貫	1,000	45		3		-42
小豆	斗	8	12			-8	-12
煙草	貫	28	154			-28	-154
巻蓆	個	150	150			-150	-150
石油	箱	182	618	111	274	-71	-344
燐寸	個	3,400	68	2	10	-3,898	-58
金巾	疋	144	964	137	697	-7	-267
木綿	同	1,032	1,341	2,275	5,234	1,243	3,893
綾木綿	同	183	1,409	335	1,867	152	458
天竺木綿	同	50	140	280	700	230	560
衣服裏地	反	40	44			-40	-44
反物	同	55	110	35	58	-20	-52
紡績糸	瓦	12	26	7	14	-5	-12
綿「子ル」	丈	8	6			-8	-6
畳「へリ」	反	40	40			-40	-40
綿	貫	134	260	36	72	-98	-188
苧	枚	2,750	165	2,580	146	-170	-19
縄	束	230	80	275	58	45	-22
吠	枚	5,560	389	2,960	223	-2,600	-166
草履	足	400	6			-400	-6
障子	枚	40	20			-40	-20
陶器	個	500	250	110	18	-390	-232
鉄	貫	190	72	58	19	-132	-53
鋼鉄	斤	225	288			-225	-288
空瓶	本	750	3			-750	-3
韓銭	貫	345	621			-345	-621
杉皮	斤	350	21			-350	-21
羽二重金巾	疋			10	65	10	65
木炭	貫			735	29	735	29
苧	同			13	26	13	26
雑貨	価格				200		200
畳	枚	98	98			-98	-98
瓦	枚			2,000	30	2,000	30
合計			16,407		17,163		756

出所：外務省通商局『通商彙纂』明治38年第2号、博文館、明治39年1月13日、30-32頁。

[表 16-3] 蔚陵島の水産物の輸出累計（1904年～1908年）

品名	1908		1907		1906		1905		1904	
	数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額
鰯	20,035.500	26,046	33,186.400	39,824	9,927.000	11,416	1,499.800	1,500	1,173.000	1,173
海苔	836.150	1,726	523.000	1,046	496.000	1,488	174.900	525	1,383.000	3,872
石花菜	1,076.300	646	620.000	31	1,800.000	126				
干鮑	476	3,808	3,305	1,653	6,700	469	970	582	190	114
若布	1,323	2,644	2,268	4,536	189	3,618	53	50	747	1,868
鮑缶詰	35	350					10	96		
合計		35,220		47,090		17,117		2,753		7,027

出所：農商工部水産局編纂『韓国水産誌 第2輯』龍山印刷局、1910年、716頁。

注：数量の単位は、鰯・海苔・石花菜が貫、干鮑が斤、若布が束、鮑缶詰が個、価額の単位はすべて円。

[表 17-1] 蔚陵島の物資価格表（1907年）

品名	数量	価格
韓錢印木綿	1疋	3圓90銭
鱈印綾木綿	同	15圓60銭
牡丹印天竺木綿	同	7圓50銭
小鷹印金巾	同	14圓10銭
羽二重金巾	同	14圓10銭
石油	1斗	4圓50銭
燐寸	1包（10個入）	12銭
食塩	小1俵	60銭
紡績糸	1丸（1貫200目）	9圓
打綿	100目	65銭
白米	1升	25銭
白大麦	同	18銭
糯米	同	32銭
清酒（大砲）	同	65銭
焼酎	同	1圓20銭
醤油	同	35銭
砂糖	1斤	20銭
素麵	1貫目	1圓
干饅飩	同	1圓
縄吹	下等1枚	12銭
苳	同	10銭
洋釘	100目	10銭
大豆	1斗	60銭
鰯	1貫目	1圓10銭
干鮑	当地にて売買なし	
石花菜	1貫目	65銭
海苔	同	2圓
木茸	同	1圓90銭
麴	同	90銭
椶材	1才（但尺以上尺六七寸角迄一間半以上三間位迄）	3銭
椶材	1才（但四五寸角ニテ一間半以上二間半迄）	3銭
椶板	1才（但四五寸厚一間モノ巾五寸以上二尺五寸位迄）	4銭
椶板	1才（但四五寸厚一間モノ巾六七寸ヨリ尺位迄）	5銭

出所：外務省通商局『通商彙纂』明治40年第51号、博文館、明治40年9月8日、25-26頁。

[表 17-2] 麩陵島の代用貨大豆の交換レート（1909年頃）

砂糖	100 匁に対し	大豆 5 升	同
素麵	同	同	同
燐寸	1 袋	同	2 升
石油	1 箱	同	1 石 2 斗乃至 1 石 5 斗

農商工部水産局編纂『韓国水産誌 第 2 輯』龍山印刷局、1910 年、713-714 頁。

注：表中の単位は、日本枡に同じ。

[表 18] 麩陵島の諸職工人夫賃金（1907年）

職業	賃金
家大工	1 日 1 圓 20 錢位
船大工	同
指物職	同
挽物職	同
木挽	1 日 1 圓位
舟子	同
日雇人夫	同
石工	同
左官	同
仲仕	同
木出し人夫	同

出所：外務省通商局『通商彙纂』明治 40 年第 51 号、博文館、明治 40 年 9 月 8 日、26 頁。

[表 19] 麩陵島の漁採物名、概算額、販売地（1909 年末）

四季魚採物名	蟹、烏賊魚、海苔
1 個年漁採概算高	800 円
販売地	各販売地
郡邑に至る距離	南面：蓮荷洞 10 里、苧洞 3 里、沙洞 3 里、玉泉洞 4 里、新星 5 里、長興洞 6 里、西面：通九味 20 里、石門洞 25 里、南陽洞 26 里、南西洞 30 里、北面：羅里洞 30 里、天府洞 30 里、平里 32 里、新洞 32 里

出所：農商工部水産局編纂『韓国水産誌 第 2 輯』龍山印刷局、1910 年、付録 124 頁。

(FUKUHARA Yuji)